

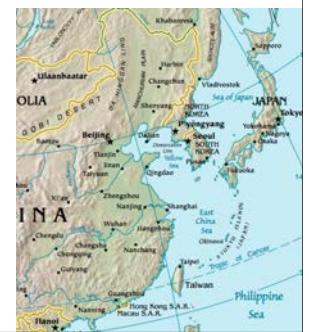
佛教以前、佛教伝来

OVERVIEW

- 日本文化・宗教の始まり
- 佛教とは何か
- 佛教伝来
- 奈良佛教

日本文化・宗教の始まり

始まりの時代



- 縄文時代・弥生時代
- アニミズム
- 古墳時代
- 卑弥呼に代表されるシャーマニズム

日本文化・宗教の起源

- ポリネシア・メラネシアからの影響：「水平的な」神話、海（彼岸）と結びつく神性
- 南方からの影響：稻作を中心とする農耕儀礼（神道の起源）
- 北方（朝鮮半島、モンゴル）からの影響：「垂直的な」神話、天と結びつく神性
- 中国・朝鮮半島からの影響：佛教、儒教、道教

佛教とは何か

仏教の開祖・釈迦

- 前5世紀頃、ルンビニ（現在のネパール）で誕生。
- 釈迦は釈迦牟尼の略。釈迦は彼の部族名もしくは國名で、牟尼は聖者・修行者の意味。「釈迦族の聖者」という意味の尊称。本名（俗名）はゴータマ・シッダールタ。
- 生涯：出家（29歳）、悟り（35歳）、初転法輪（仏・法・僧がそろった仏教の成立）、入滅（80歳、遺骨は分けられストゥーパ〔仏塔〕に）
 - 【参考】五重塔などは、ストゥーパから発展したものの。仏舍利を安置。



仏教の教え

- 中道（The Middle Way）
- 四諦（The Four Noble Truths）
 - 苦諦（The Truth of Suffering）
 - 集諦（The Truth of the Accumulation of Suffering）
 - 減諦（The Truth of the Elimination of Suffering）
 - 道諦（The Truth of the Path that Leads Away from Suffering）
- 縁起（The Dependent Arising）

仏教教団の種類

- 部派佛教：上座部（Theravada）と大衆部
- 前1世紀頃から、大乗佛教（Mahayana Buddhism）が台頭。
 - 上座部を「小乗」（Hinayana）と呼ぶ。

ガンダーラ美術（1-5世紀）



仏教伝来

仏教伝来

- 仏教伝来（The Coming of Buddhism, 538年または552年）
 - 百濟の聖明王が、欽明天皇に金銅製の釈迦像や仏典などを贈る。
 - 仏教受容をめぐる争い
 - 物部氏・中臣氏：外国の神である仏を招くことは、日本の神祇の怒りを招く。
 - 蘇我氏：大陸文化の摂取に積極的。
 - 587年、蘇我氏が物部氏を滅ぼす。用明天皇が仏教に帰依。

聖德太子 (厩戸皇子)

- 聖德太子 (Prince Shotoku, 573-621)
- 用明天皇の子
- 十七条憲法 (604) Seventeen Article Constitution
- 「篤く三宝（仏・法・僧）を敬え」（第二条）
- 法隆寺（607年、世界最古の木造建築）、四天王寺などを建立
- 日本最初の佛教文化（飛鳥佛教）を生み出す。



法隆寺



奈良佛教

奈良時代 (710-794年)

- 律令制国家の成立：仏教は国家宗教として国民統治の役割を果たす。
- 南都六宗 (six sects of Nara Buddhism)
 - 華厳、律、法相、三論、俱舎、成実
 - 律宗：鑑真（688-763）によって伝えられる。
 - 法相宗：法隆寺（710年、聖德宗として独立）、興福寺、薬師寺、清水寺（765年、北法相宗として独立）
 - 華嚴宗：東大寺、大仏（The Great Buddha）建立

大仏建立 (749年)

- 742年、聖武天皇は全国に国分寺と国分尼寺をつくる。東大寺は総国分寺。
- 大仏は華厳宗の本尊・盧舎那仏。
- 盧舎那仏の原語はサンスクリットの「ヴァイローチャナ」。密教における大日如来（マハーヴァイローチャナ）も同じ語源を持つ。

東大寺 (世界遺産)



手塚治虫『火の鳥』 4 鳳凰編



七五一年四月九日
大仏殿に 聖雲上皇 光明皇后
天皇はしめ 天下の名勝等鑑賞 三万人參
列者をもつて盛んな観覧式が行われた
これで文字どおり未だ有るの国家的儀式であ
つた

民衆佛教 (Popular Buddhism)

- 国家佛教の枠を越えて、民衆の間に佛教が広まる。
- 行基 (668-749)
 - 717年、行基の集団は人心を惑わすとして弾圧される。
 - 745年、朝廷は行基を最初の「大僧正」に任じる。

